

<p>【技術の名称】 S-EAGLE耐震杭工法 -S-EAGLE場所打ち鋼管コンクリート耐震杭工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第22-21号 性能証明発効日：2023年1月20日</p> <p>【取得者】 プラン・ドゥ・ソイル株式会社 システム計測株式会社 一般社団法人基礎開発機構</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、場所打ちコンクリート杭の杭頭あるいは全長の外周面に設置された鋼管の上下端部内面に、鋼管と鉄筋コンクリート部との付着力を高めるための応力伝達機構を設ける工法である。応力伝達機構には、鉄筋を鋼管端部内面にフレアー溶接するタイプ（以下、“溶接鉄筋タイプ”と称す）、鋼管端部に開口を設けるタイプ（以下、“開口タイプ”と称す）があり、前者はフレアー溶接された鉄筋とコンクリート中に配筋された杭主筋とのあき重ね継手による応力伝達により、後者は鋼管の上下端部に開口を設け、鋼管開口部とコンクリートのせん断・支圧による応力伝達により、鉄筋コンクリートと鋼管の一体化をはかる技術である。



写真1 4点曲げ試験 試験装置全景

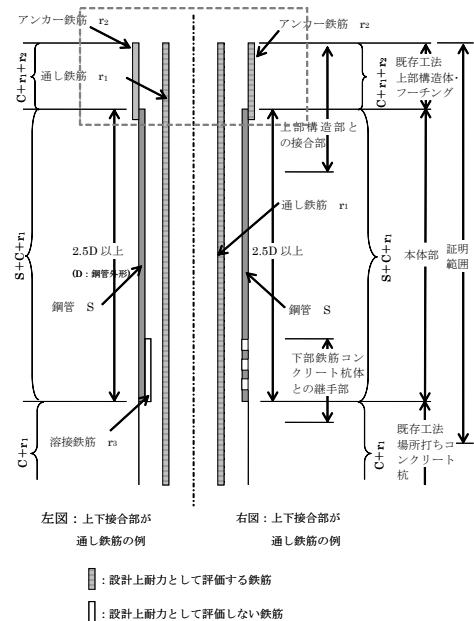
【技術開発の趣旨】

場所打ち鋼管コンクリート杭では、鋼管と鉄筋コンクリート部との付着力を高めるために鋼管内面に溝状のリブを施した特殊な鋼管を使う工法等があるが、コスト・納期等の問題がある。本工法では、特殊な鋼管を使用せずこの付着力を確保するために、溶接鉄筋タイプ、あるいは開口タイプによって、鋼管上下端部での応力伝達を可能にすることを意図して開発された。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「S-EAGLE 耐震杭工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された場所打ち鋼管コンクリート杭は、同指針で規定する必要耐力を有する。



※図は便宜的に示したもので、左右の形状は併用しない。

図1 S-EAGLE 場所打ち鋼管コンクリート耐震杭工法の説明

【本技術の問合せ先】

システム計測株式会社 担当者：坪川 健太郎
 〒130-0014 東京都墨田区亀沢 1-26-4

E-mail : k-tsubokawa@systemkeisoku.com
 TEL : 03-5611-2500 FAX : 03-3625-2100